

研修部

学校教育目標

夢いっぱい 未来を切り拓く 上小の子

【目指す子ども像】

- ①「なぜ?」「やってみよう」などの思いをもち、進んで学習活動に取り組む子ども
- ②学習の見通しをもち、主体的に課題を解決しようとする子ども
- ③比較・検討しながらよりよい考えを追究する子ども
- ④自らの学びを振り返り、次の学びへつなげる子ども

研究主題

自ら考え、伝え合い、学びを深める子どもの育成
～見方・考え方を働かせ、主体的に学ぶ子どもを目指して～

【研究の仮説】

- I. 単元や1単位時間の授業において、「秋田の探究型授業」を徹底することによって、児童が「分かった」「できた」を実感できるのではないかと。
- II. 学び合いにおいて、ねらいを明確にし、自分の考えを生き生きと伝え合う場を設定することにより、考えを広げ深めることができるのではないかと。

具体的施策

【共通実践事項】

- 上小スタンダードの活用 ICTの効果的な活用 単元評価問題の活用
子ども授業参観 カッシータイムへの取り組み

重点実践事項

I. 「秋田の探究型授業」の徹底

- 必要感のある問題の提示
- 見通しのもたせ方の工夫
- 問題解決の過程と成果を自覚するための振り返り

II. 見方・考え方を働かせた学び合いの充実

- 「見方・考え方」をいつ、どこで働かせるかを明確にした単元構成・授業構想
- 考えをみがき上げるSTEP UP タイムの充実

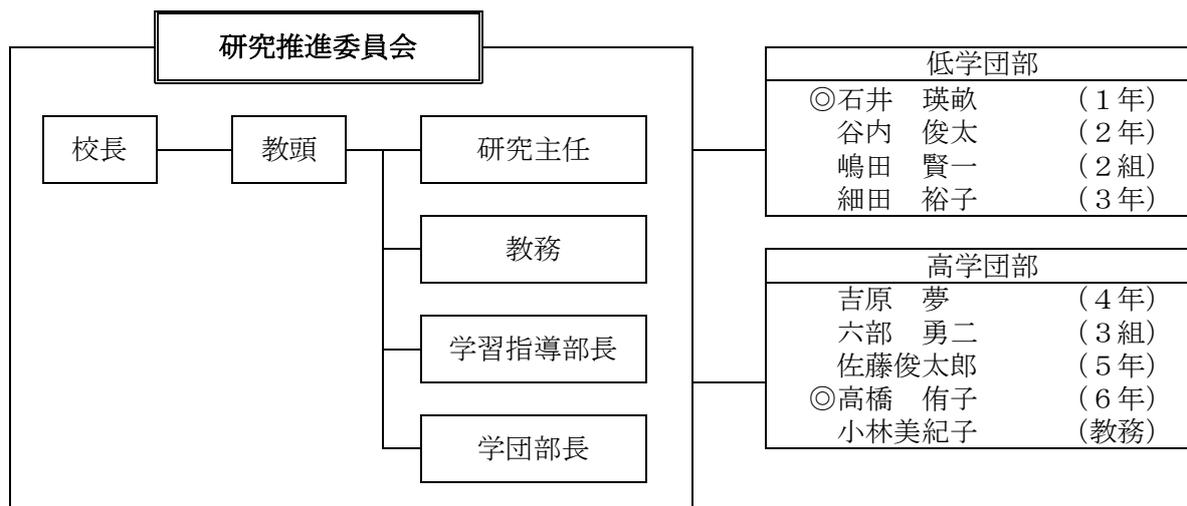
2 検証の観点

- 児童の学び
- ・単元や1単位時間の授業を通して、ねらいがどの程度達成されたか。
 - ・諸調査の通過率や回答状況から、どのような学力がどの程度身に付いたか。
 - ・各種アンケートから、主体的に学習に向かう意欲や学び合い活動の充実がどの程度あるか。
- 教師の指導
- ・研究授業等、提案授業での指導がねらい達成につながったか。
 - ・自己の実践に目標に基づく授業改善の結果として、目指す児童の姿に近づいているか。

3 検証の方法

- 学力向上
- ・県単元評価問題、国・県学力調査等の活用、児童アンケートによる意識調査（7月、12月）
- 授業改善
- ・「授業改善のための観点シート」を活用した授業評価、教師アンケート（9月、2月）

4. 研究組織



5 年間研修計画

月	重点	研修内容
4	研究の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> 全体研修会（職員会議における研究全体計画の共通理解） 具体的な取組みの提案・推進 指導案の形式の確認、検討
5		<ul style="list-style-type: none"> 指導案検討会
6	授業実践を通じた検証	<ul style="list-style-type: none"> 授業を見合う会、子ども授業参観 北教育事務所指定訪問「算数科」授業研究会（6年） 一中学区連携研究会（会場校：一中）
7		<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート 特別支援学級実践研修（2組） 通常の学級実践研修（3年）
8		<ul style="list-style-type: none"> 指導案検討会 全体研修会（1学期の研修の振り返りと2学期に向けて）
9		<ul style="list-style-type: none"> 教師アンケート 北教育事務所指定訪問「道徳」授業研究会（5年）
10	授業実践を通じた検証の継続と改善、深化	<ul style="list-style-type: none"> 大館市教育研究会「算数（低）」授業研究会（1年）
11		<ul style="list-style-type: none"> 北教育事務所要請訪問「算数科」授業研究会（4年） 授業を見合う会
12		<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート
1	研究の成果と課題のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の取組みの成果と課題 研究のまとめ、今年度の振り返り 学団部会研修（県学習状況調査の結果分析について）
2		<ul style="list-style-type: none"> 教師アンケート
3		<ul style="list-style-type: none"> 全体研究会（次年度構想）